

医学研究実施のお知らせ

本学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】 Y-ボックス結合蛋白質-1を標的とした高異型度漿液性卵巣癌及び卵巣明細胞癌の適正化分子診断と新規治療の創出研究

【研究の概要】

研究の目的

卵巣癌には色々な種類があり、分子生物学（生命現象を分子を使って説明・理解する学問）の視点から大きく2つのタイプに分けられます。

その中で日本人に多いのが高異型度漿液性卵巣癌（タイプ1）と卵巣明細胞癌（タイプ2）です。この研究では卵巣癌に関わりがあるとされるY-ボックス結合蛋白質-1という蛋白質に着目し、上記の2つのタイプについて分子生物学的な違いを調べることにより病状を把握し、有用な治療方針の決定につなげます。

研究期間

承認日～2025年3月31日まで、研究の実施を予定しています。

対象となる方等

研究機関：☑附属病院 葛飾医療センター 第三病院 柏病院

対象となる方：2006年9月から2019年9月までに病理組織診断にて高異型度漿液性癌および明細胞癌と診断された方

研究に利用する試料、情報等

試料：腫瘍組織試料

情報：患者背景因子（年齢、性別等） 診断日 腫瘍関連情報（ステージ、組織型等）
初回治療方法（化学療法の有無、効果等） 再発再燃時情報 転帰（最終生存確認日等）

他の機関（検査会社等含む）へ試料や情報等を提供する方法

本研究では、に記す対応を行ってから下記のとおり提供致します。

提供先の機関：社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア健康科学研究所 研究代表者：桑野信彦
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町 422
電話：0942-35-3322 FAX：0942-34-5926

提供方法：試料はドライアイスの入った発泡スチロールにて送付します。

提供する試料・情報の種類：例）血液、だ液、排泄物、検査データ、病歴等

【問い合わせ先（対応時間：平日 09：00～17：00）】

東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座

研究代表者：岡本 愛光（おかもと あいこう）

電話：03-3433-1111（内線：3521）

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

他機関へ提供する試料・情報につきましては匿名化を行い、特定の個人を識別できないようにします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。